



1面 目次／外国出身者のための日本語教室 2015年度上半期日程 2面 会員交流会終了／平成27年度TIFA総会のお知らせ 3面 世界の料理「ブラジル編」終了／「とりでひな祭り」ツアー終了／「第4回ゆめあかり3・11」に参加 4面 日本語教室NOWスキルアップ講座／「多言語生活情報」の紹介／日本人のひとりごと／新会員紹介

外国出身者のための日本語教室

2015年度上半期日程は次の通りです

取手市国際交流協会では、日本語がよくわからなくて困っている外国出身者を対象に、日本語学習のお手伝いをしています。

下記の2会場で「日本語教室」を開催していますので、知り合いの外国出身者の方々に、気軽な参加を呼びかけてくださるようお願いいたします。

教室(会場)		曜日・時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月
中央教室 (福社会館) 取手市東 1-5-1 *市民会館隣	金曜日	午前の部 午前 10:00 ～11:30	10	8	5	3	夏休み	4
			17	15	12	10		11
		夜の部 午後 6:00 ～7:30	24	22	19	17		18
			—	29	26	—		25
戸頭教室 (戸頭公民館) 取手市戸頭 6-30-1	日曜日 午前 10:30 ～12:00	5	17	7	5	夏休み	6	
		12	24	14	12		13	
		19	—	21	19		20	
		—	—	28	—		—	
	火曜日 午後 7:30 ～9:00	7	12	2	7	夏休み	8	
		14	19	9	14		15	
		21	26	16	21		29	

☆受講料は無料ですが受講する方は、取手市国際交流協会の会員になっていただきます。(年会費2,000円。教科書は自己負担)

☆問合せ先：取手市国際交流協会事務局(取手市役所秘書課内)
TEL 0297-74-2141(内線1112)

TIFA(国際交流協会)第4回会員交流会



2月28日(土)取手市民会館にて会員交流会が開催されました。参加者は最終的に114名を数え、うち外国出身者はちょうど30人と過去最大の賑わいでした。会長の挨拶、スライドを使った1年間の活動報告、日本の文化紹介から「お琴の演奏」の後、第2部懇親会に移りました。TIFAで用意した軽食、ソフトドリンクの他、各国のお菓子やケーキなど作って持参してくれる人もいて大好評でした。しばらく歓談の後各ブースに分かれて交流の時間となりました。また、第2部に実施した「筑波大学よさこいソーラン」の踊りには自然に参加者も加わり大盛り上がりでした。外国出身者はのりが良いですね!

司会者の案内で交流部、日本語教室、英語のネイティブスピーカーがお相手するTCS(Toride Chat Square)、行政書士の先生がお応えする無料相談、広報部、総務部など各ブースに分かれて参加者を待ち受けました。当日会場内で新たにTIFAに入会していただいた人も多く、ますます国際交流の仲間が増える場になりました。次回の交流会の実施時期、形態は未定ですが、今後もこのような会は続けて行こうと思いました。

(交流部 土井照夫)

平成27年度TIFA総会のお知らせ

平成27年度TIFAの活動計画、予算等を決める大切な総会です。一人でも多く会員の皆様の出席をお願いします。是非多くのご意見をお聞かせください。

本年は総会終了後、会員懇談会を予定しております。昼食を食べながら会員相互の親睦を図りたいと思います。参加のお申込をいただいた方には昼食を用意させていただきます。

(別途ハガキで出欠の返事をお願いします)

日時	平成27年5月10日(日)
	総会 10:30~12:00
	懇親会 12:15~13:30
場所	取手市福祉交流センター 多目的ホール
議題	平成26年度活動報告、決算、 平成27年度活動計画、予算、会則の一部変更

世界の料理 フラジル編

小学生の頃両親と共にブラジルに渡られ約 60 年、日系の境 久さんを講師に迎えて 2 月 8 日（日）井野公民館でブラジル料理を作りました。当日のメニューはフェジョアード、茄子のサラダ、パステウ（ブラジル風揚げ餃子）、焼きパイナップルの 4 品です。大航海時代アフリカから連れて来られた黒人に、安くかつ人が食べない残りの食材で作った黒豆がベースの煮込み料理が、今や国民食となり、毎週水、金はブラジル中でフェジョアードを食べるそうです。出来上がりの見た目は肉が入ったお汁粉風でご飯にかけて頂きます。パステウの中身はひき肉、玉ねぎ、トマト、オリーブ、ニンニク、チーズが入りお酒のおつまみにぴったり。

食後のトークコーナーでは現在のブラジル事情を話していただきました。南米大陸のほぼ半分の広さで人口約 2 億人の大国で、そのうち日系人 160 万人、移民 110 年近くになり現在は 6 世が活躍しているそうです。日系社会の活躍も著しく、昔の日本のよき習慣が日本本土より濃く残っているようです。戸頭教室で日本語習得に励んでおられる方などに故郷を懐かしく思い出していただき、33 名の参加で賑やかなひとときでした。（交流部 佐々木房子）



ひなまつりツアー終了

2 月 22 日（日）タイ、インドネシア、ベトナム、中国、スタッフの 12 名は無料シャトルバスで「さくら会館」に向かいました。赤を基調とした飾りつけは可愛らしく、初めて見る日本のひな人形の繊細さ、手仕事の業に春を喜ぶ季節を感じて貰えたようです。参加者全員仲良くなり新しい友人が出来ました。ビールの試飲、お土産、解散後も希望者で市街地に繰り出し、当日解放の本陣見学、甘酒、草餅、桜湯のサービスを受け、日本の文化と食を存分に楽しみました。心配していた雨も降らず、12 名が 1 台のバスで移動できたラッキーなツアーでした。（交流部 佐々木房子）

第 4 回「ゆめあかり 3・11」に参加

TIFA は「ゆめまっぷの会」が主催する第 4 回「ゆめあかり 3・11」に参加しました。これは 2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災を忘れないため、又東北の復興を祈念したイベントで 3 月 7 日（土）取手市役所藤代分庁舎前の広場で開催されました。約 12,000 体の紙袋キャンドル（灯籠）に東日本大震災で犠牲になられた人々を悼み、灯りが点されました。TIFA では日本語教室で日本語を学習している外国出身者が中心になり、紙袋キャンドルに願いを込めたメッセージを書き入れました。（広報部 鈴木忠男）



私は現在、戸頭教室において在日10年以上のインドネシア出身学習者に日本語の読み書きを中心に教えています。一昨年秋に、取手市広報に掲載されていたTIFAの日本語ボランティア養成講座に応募・受講し、その後、活動に参加、現在に至っています。

実は、私は元々、学校で習った国語ではなく生きた生活言語としての日本語そのものの勉強に大変興味があって、ある程度勉強はしてきましたが、外国出身者に日本語を分かりやすく教えることの難しさに今直面しています。自らの学習に日々努力を重ねる必要性を痛感していたところ今般、3月7日(土)開催の日本語ボランティア・スキルアップ講座に参加する機会を得ました。講師の吉田聖子先生(日本教育学会会員・地域人材育成コーディネーター)のお話で特に興味深く感じたことは、「ボランティア日本語教室にマニュアルはない!大切なのは活動想像力、コミュニケーション力、場づくり力という3つの基礎力であり、単に文字、語彙、文法の勉強だけでは足りない、適切な日本語で、思いを込めて伝える力を養うことである」との指摘です。自分自身、さらに精進し、日本語ボランティアの責務をしっかりと果たせるよう頑張りたいと思います。



(日本語教室部 柿本譲)

「多言語生活情報」の紹介

一般社団法人「自治体国際化協会」は外国人住民の方々が生きて生活するために必要な17分野の生活情報を「多言語生活情報」として13言語で公開しています。下記のURLを皆さんのお知り合いの外国出身者の方に紹介してください。

<http://www.clair.or.jp/tagengo/>

この情報はTIFAホームページにも掲載しています。

新会員紹介(敬称略)

バンダリ・パラス	佐々木智子
リュウリ	岡田 綾子
カテイリマ・クマリ	寺田 充
カドーカ・スニール	斉藤 俊介
タバ・ギタ	タバ・トラン
タバ・ディネシュ	深沢コトナラ
アディカリ・アレーヌ	
フランチェスコ・ファツ・ジョン	

日本人のひとりごと

月日の経つのは早いもので、2011年3月11日に発生した東日本大震災から4年がたちました。4年という歳月は人々の記憶も薄くなり、この大震災も遠い過去の出来事になってしまっているのではないのでしょうか?東北の復興には、まだまだ時間がかかります。この3月11日を過去のものにしないためにも、今一度あの震災の出来事を思いだし、私たちの身近なものとして、東北の復興をみまもりたいですね。

連絡先: 取手市国際交流協会事務局 取手市役所秘書課内

TEL:0297-74-2141 内線 1112

FAX:0297-73-5995

E-Mail: hisho@city.toride.ibaraki.jp ホームページ: <http://www.tifa-japan.com>